

# 静岡県和学校図書館

平成 25 年 1 月発行  
静岡県総合教育センター  
生涯学習推進室

## 学校図書館活用 で授業改善を！

～学校図書館を活用して  
授業が変わる～

### —学校図書館の利活用—

小学校で平成 23 年度から、中学校で平成 24 年度から、高等学校では平成 25 年度入学生から全面実施される新しい学習指導要領では、生きる力をはぐくむことを目指し、基礎的・基本的な知識及び技能を習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等をはぐくむとともに、主体的に学習に取り組む態度を養うため、「言語活動」を充実することとされており、授業において学校図書館の利活用を図り、読書活動を一層充実することが求められている。— 人の、地域の、日本の未来を育てる読書環境の実現のために（平成 23 年 9 月）より —

知識基盤社会といわれ、変化の激しい社会をこれからの子どもたちが主体的に生きるためには、学校教育において「生涯にわたって学習する基盤」を培い、課題を解決するために必要な「思考力・判断力・表現力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うこと」（平成 19 年学校教育法）が大切です。

学校図書館の二つの機能「学習に対する興味・関心等呼び起こし、豊かな心を育む、自由な読書活動や読書活動の場である『読書センター』としての機能」と「児童生徒の自発的、主体的な学習活動を支援するとともに、情報の収集・選択・活用能力を育成して教育課程の展開に寄与する『学習・情報センター』としての機能」を計画的に活用することで、これからの社会を担う子どもたちに必要とされる「生きる力」を育むことができます。今回は学校図書館を活用した小学校、中学校、高等学校の授業例を紹介します。

### 清水町立清水小学校 「調べてみよう～『お正月』について」

清水町立清水小学校では司書教諭が中心となって、学校図書館を活用した授業を推進しています。まず、年度初めに「学校図書館活用授業年間計画」及び「情報スキル系統表」を作成しました。系統表に関しては授業で使用するワークシートとともに、各学級へ配付され、活用されています。

3 年生の「お正月」についての調べ学習が行われました。3 年生は情報スキル系統表の中のステップ 1 として、百科事典を使って調べる学習を行いました。始めに「お正月」の何について調べるかのテーマを決めました。手順としては、「お正月」から浮かぶ言葉をたくさん挙げます。次に挙げた言葉の中から一つ調べたいことについて、疑問文の形でテーマを設定します。例えば、「かがみもち」を調べる事柄として決めたら、「かがみもちは何でお正月に飾るようになったのか」というテーマにします。そして、自分が決めたテーマが載っている本を探します。司書教諭はあらかじめ、町立図書館から「お正月」に関する本を借りておきます。自分の発想からテーマを絞り、本を使って調べ、課題を解決していくというステップを踏んだ学習により、「どうして『かがみもち』っていつか分かったよ。」「かがみもちを食べる日が決まっているんだね。」等、子どもたちの思考の深まりが伺えました。



【百科事典の目次から探す】

## 袋井市立袋井中学校 「新聞を活用した情報リテラシーの育成」

袋井市立袋井中学校では、学校図書館に新聞を2紙置いています。これらは国語科の授業をはじめとして、社会科の授業等においても活用しています。3年生の国語「論理の展開に着目して読もう」の学習で新聞を活用した授業を紹介します。授業者は、教材の目標である「二つの社説を比較して読み、文章の構成や展開、表現の仕方についてその効果や違いを捉えることができる（読むこと）」に迫る授業を構想しました。生徒たちは、単元の第1時に教科書に掲載されている平成21年国語世論調査についての社説を読み、表現の仕方と効果の違いを読み取ります。第2時以降は、第1時での読み取りの力を生かして、学校図書館にある新聞から今年の世論調査結果について読み比べ、意見文を書きました。ワークシートに具体的に抜き出すための視点や手順等が示されたことで単元のもう一つの目標である「論理の展開を工夫し、資料を適切に引用などして、説得力のある文章を書くことができる（書くこと）」に迫ることもできました。



【学校図書館に新聞、雑誌を配架】

生徒たちは学校図書館の新聞という新しい情報を得ることで、より身近に問題を捉えることができました。さらに、今身に付いている言語能力と付けさせたい言語能力を見極めステップを踏んで指導したことにより、世論調査に対して自分の判断を整理し、根拠のある意見文を書くことができました。

このように新聞等の新しい資料を使ってどのような文章が分かりやすいかについて考え、意見文を書くことを繰り返すことで、教科で付けた力を身に付けさせることができます。あらゆる角度から、学校図書館の資料を使った授業を構想することにより、情報を収集し、比較・選択して自分の考えを発信するという、情報リテラシーの力を育成することができます。



【社説を読み比べて  
意見文を書く】

## 県立掛川工業高等学校 「さまざまな教科での学校図書館活用」

掛川工業高等学校では、図書課を中心として授業に学校図書館を活用した取組を継続的に進めています。

国語表現の授業では、お薦めの一冊を紹介する本のポップを作成しました。生徒が作成したポップは本とともに地元の書店に置かれました。生徒たちは自分が書いたポップでどのくらい本が売れたかを知ることができ、読者を惹きつけるポップの書き方を実践的に学ぶことができました。また、このポップは校内に掲示したり、学校図書館の本の紹介として使用したりしました。



【お薦めの本をポップと共に紹介】



【新聞の切抜きを使ったプレゼンテーション】

政治経済の授業では、学校図書館を活用して、卒業論文の作成や「新聞切り抜き作品コンクール」への出展作品の作成を行いました。今年度は新聞を取り扱い、生徒たちの思考を深める学習を行っています。さらに世界史の授業でも学校図書館の書籍を使い、調べたことを興味に応じて深めていく調べ学習を継続的にを行っています。

このように、さまざまな教科において、継続的に学校図書館を活用した授業を行うことにより、生徒たちにとって本がより身近になり、読書の幅が広がるとともに思考の深まりも期待できます。